プログラム

注）敬称略
助成研究の発表者の所属・肩書は採択当時のものです
■印は2021年度国際共同研究助成による研究
★印は2021年度国内共同研究（年齢制限なし）助成による研究
●印は2021年度国内共同研究（満39歳以下）助成による研究
◎印は2023年度一般公募演題
□印は2020年度国際共同研究助成による研究
☆印は2020年度国内共同研究（年齢制限なし）助成による研究
○印は2020年国内共同研究（満39歳以下）助成による研究
◇印は2019年度国際共同研究助成による研究

◆ 2023年12月9日（土曜日）◆

9:15　開会

主催者挨拶　中村　安秀　（公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長）
来賓ご挨拶　伯野　春彦 氏　（厚生労働省大臣官房 厚生科学課長）
新垣　真理 氏　（一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究主幹）
原田　明久 氏　（ファイザー株式会社 代表取締役社長）

9:30　2023年度研究助成贈呈式

研究助成選考経過・結果発表　山崎　力 選考委員長
研究助成贈呈式　プレゼンター：中村 理事長

10:15　助成研究発表　2023年度助成受賞者による助成研究ショートプレゼンテーション
- 国際共同研究・・・・・・・・・・・・・・　受賞者　8名
- 国内共同研究一年齢制限なし・・・受賞者16名
- 国内共同研究一満39歳以下・・・　受賞者16名（発表は順不同）　計40名

助成研究総評：山崎 選考委員長

12:30～13:25　昼食・休憩

13:30　ヘルスリサーチフォーラム 30 周年記念シンポジウム

基調講演　島崎 謙治 氏　（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授）
上野 千鶴子 氏（認定 NPO法人ウィメンズアクションネットワーク 理事長、東京大学 名誉教授）

14:30～14:45　休憩

14:45　パネルディスカッション『少子化社会を乗り越えるヘルスリサーチ』　司会：中村 理事長

パネリスト　海野 信也 氏　（北里大学 名誉教授、JCHO相模野病院 周産期母子医療センター 顧問）
坂元 晴香 氏　（東京女子医科大学衛生学公衆衛生学講座グローバルヘルス部門 准教授）
上野 千鶴子 氏（認定 NPO法人ウィメンズアクションネットワーク 理事長、東京大学 名誉教授）
島崎 謙治 氏　（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授）

16:15～16:30　休憩

16:30　第30回ヘルスリサーチフォーラム

16:30～17:25　**セッション1　座長：矢作　恒雄**（慶應義塾大学　名誉教授）

○ 唾液中ストレスバイオマーカーによる発達障害患児の不登校・ひきこもりへの発展の予測因子の解明
奈良県立医科大学精神医学講座　助教　山室　和彦（P 6）

★ 休職・離職の予防に向けた企業内ストレスによる精神障害の早期検出基準の確立
名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻包括ケアサイエンス領域 予防・リハビリテーション科学講座 作業療法科学　講師　星野　藍子（P 7）

■ 国際版ひきこもり家族支援プログラムの開発
九州大学大学院医学研究院精神病態医学　准教授　加藤　隆弘（P 8）

■ プロセスマッピングを用いた臨床現場におけるノンテクニカルスキル可視化の研究
東京医科大学医療の質・安全管理学分野　准教授　浦松　雅史（P 9）

◆ 2023年12月10日（日曜日）◆

9:00　開会　事務局

9:15～10:10　**セッション2　座長：甲斐　克則**（早稲田大学大学院法務研究科 教授）

☆ アジア人の口腔内の歯科用金属組成に基づく個人識別スクリーニングに向けた比較検証
広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター　特任講師　岡　広子（P12）

◎ 公正な医療アクセスを目指すクラウドソーシングの開発と普及
東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室　客員研究員　有田 久仁子（P13）

■ 大学生の COVID-19ワクチン接種行動に関するメディア行動と社会的要因の日印米国際調査
産業医科大学産業保健学部 安全衛生マネジメント学講座　教授　河村　洋子（P14）

■ 新型コロナ感染下における子どもの権利擁護 - 海外諸国との比較検討 -
佛教大学社会福祉学部社会福祉学科　教授　武内　一（P15）

10:15～11:10　セッション３　座長：大木　幸子（杏林大学保健学部看護学科　教授）

◎ 多世代交流の促進がソーシャルキャピタルに及ぼす影響：２年間の地域介入研究
東京医科大学　客員研究員　**根本　裕太**（P18）

■ 精神医療における未治療期間の要因：日墺二国間・比較混合研究
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室　専任講師　**内田　裕之**（P19）

★ 死を取り戻す -学際的チームによるデス・エデュケーションの効果に関するパイロット・スタディ
東京都健康長寿医療センター研究所　福祉と生活ケア研究チーム　介護・エンドオブライフケア研究　研究部長　**井藤　佳恵**（P20）

◎ 少子化対策としての社会保険医療の課題
広島修道大学法学部　教授　**山田　晋**（P21）

11:15～11:56　セッション４　座長：長谷川　剛（医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院　特任副院長）

★ 多発性骨髄腫を例とした、高齢者への高度医療の費用対効果分析：大規模レセプトデータを用いて
京都大学医学部附属病院血液内科　助教　**諫田　淳也**（P24）

★ ビッグデータを用いた経時的連続家庭血圧測定による疾患発症予測とイベント発生リスクスコアの構築
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学　講師　**窪薗　琢郎**（P25）

★ 新型コロナウィルス感染症パンデミックの手術生産性変化に与える影響
帝京大学大学院公衆衛生学研究科　教授　**中田　善規**（P26）

12:00～12:55　昼食・休憩

13:00～13:55　セッション５　座長：坂巻　弘之（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科　教授）

● 小児科領域の抗菌薬適正使用を目的とした保護者向け啓発動画の作成と効果の検討
独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院薬剤部　薬剤師　**川村 ひとみ**（P28）

● 妊娠中の漢方薬使用に関するエビデンスの創出ー使用状況調査と安全性評価ー
東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門　助手　**松崎 芙実子**（P29）

■ COVID-19感染及び重症化に関する学際的要因の解明：日本ーベトナムの比較調査研究
昭和薬科大学臨床薬学教育研究センター実践薬学部門　助教　**神林　弾**（P30）

★ 免疫チェックポイント阻害薬による治療を受ける肝がん患者の免疫関連有害事象早期発見システムの試作
東海大学医学部看護学科基盤看護系基礎看護学　教授　**庄村　雅子**（P31）

14:00～14:55　セッション６　座長：梶井　英治（茨城県西部メディカルセンター　病院長）

● ストレッチャビリティを有するヘルスケア用ウェアラブルシステムの研究
横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門　准教授　**太田　裕貴**（P34）

□ プライマリ・ケア医の日米国際比較～超高齢社会の地域包括ケアに携わる医師の育成～
帝京大学医学部救急医学講座総合診療科　教授　**金城 謙太郎**（P35）

★ 多疾患併存状態（マルチモビディティ）の診療におけるプライマリ・ケアの役割
東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター臨床疫学研究部　講師　**青木　拓也**（P36）

★ ITで結ぶ関節リウマチ（RA）リアルワールドデータベース MiRAi
大阪南医療センター臨床研究部リウマチ・膠原病・アレルギー科　臨床研究部長、治験管理室長、免疫疾患センター部長、臨床研修管理室長　**大島　至郎**（P37）

15:00～15:15　コーヒーブレイク

15:15～15:56　セッション７　座長：平野　かよ子（宮崎県立看護大学　名誉教授）

● 高齢心不全患者のオーラルフレイル予防のための看護師教育ツールの開発
聖路加国際大学大学院看護学研究科急性期看護学　博士後期課程３年　**小布施 未桂**（P40）

■ 認知症の行動・心理症状とケア施策に関する日米共同研究
北海道大学大学院医学研究院社会医学分野衛生学教室　助教　**新井 明日奈**（P41）

★ コロナ禍における、発達障がい児のためのオンライン教育システムの構築
三重大学教育学部 教授／三重大学教育学部附属小学校　校長　**松浦　直己**（P42）

16:00～16:55　セッション８　座長：川越　厚（在宅ホスピス研究所パリアン　代表／森の診療所　医師）

◇ 日本とブラジルにおけるアルツハイマー病の BPSD国際比較
東北大学未来科学技術共同研究センター高齢者高次脳医学研究プロジェクト　助手　**厚東　知成**（目黒謙一氏の代理として発表）（P44）

★ 女性がん患者に提供される集学的治療に係る医療の質を保証する要素とその構築
国立研究開発法人国立がん研究センター東病院　専門看護師　**千葉　育子**（水野道代氏の代理として発表）（P45）

★ 希少がん患者のゲノム医療時代のアンメットニーズに関する調査
国立がん研究センター社会と健康研究センター国際連携研究部　研究員　**ガテリエ　ローリン**（P46）

★ 総合診療医・老年内科医による Multimorbidityの高齢者診療の実態調査
埼玉医科大学医学部 総合診療内科　教授　**木村　琢磨**（P47）

17:00　閉会

閉会挨拶　中村 理事長
連絡事項　事務局